

長畑ひろのり



News vol. 172

市議会議員選挙の結果 2月定例議会における質問①

私が出馬した以降の四條畷市議会議員選挙の投票率です。
今回は立候補者が少ないからか、投票率は低かったです。

平成19年	54.74%	(定数16名で立候補18名)
平成23年	54.19%	(定数16名で立候補24名)
平成27年	47.67%	(定数12名で立候補20名)
平成31年	50.93%	(定数12名で立候補15名)
令和 5年	43.79%	(定数12名で立候補13名)

今回の当選者を、得票数の多い順に報告します。

土井 一慶	【大阪維新】(2期目)	3,073票
渡辺 裕	【無所属】(5期目)	2,833票
吉田 涼子	【公明党】(2期目)	1,556票 (端数切捨)
長畑 浩則	【無所属】(5期目)	1,532票
若松 正治	【公明党】(1期目)	1,496票
岸田 敦子	【共産党】(7期目)	1,440票
森本 勉	【無所属】(4期目)	1,435票
島 弘一	【無所属】(4期目)	1,334票
柳生 駿祐	【大阪維新】(2期目)	1,229票
坂本 勇基	【大阪維新】(1期目)	1,101票
藤本 美佐子	【無所属】(4期目)	1,089票
吉田 裕彦	【自民党】(4期目)	952票 (端数切捨)

私の過去の順位と得票数です。

1回目	平成19年	3位 (立候補18名)	1,837票
2回目	平成23年	6位 (立候補24名)	1,155票
3回目	平成27年	6位 (立候補20名)	1,439票
4回目	平成31年	5位 (立候補15名)	1,399票
5回目	令和 5年	4位 (立候補13名)	1,532票

四條畷市議会において、唯一政党や組合等の支援を受けていない私ですが、今回も多く票を頂いたことに大変感謝しています。これからの任期4年間も、私に頂いた票の重さに責任を感じ、ただただ市民皆さまのために精一杯働きますので、今後とも宜しくお願いします。

・こどもを取り巻く環境について

【長畑質問】 保育所等に入所入園していない未就園のこどもに対して、本市はどう関わっているのか。

【子ども未来部長答弁】 出産後の全戸訪問や1/2バースデイ訪問などを通じ積極的にアウトリーチを行っているほか、各種健診や教室、つどいの広場や子育てぽけっと等の支援サービス等を通じ、親子の健康づくり支援や親子の交流等を進めている。このような取り組みの中で子育て支援に関する情報

提供や面談を行うとともに、支援が必要な家庭や子どもの成長・発達または生活の課題がある場合、関係機関が連携しながら適切な支援に繋げるなど、寄り添いながら相談支援を実施し、未就園の親子に対しても丁寧なサポートを行っている。

【長畑質問】 地域と繋がりのない未就園の子ども達の虐待が防げないのか、虐待までいかないまでも子育て放棄に近い家庭があった場合、子ども達を守ることはできないのか。それらを防ぐためには、これまでの取り組みをもう一歩前に進めなければならないと思う。

そこで提案だが、未就園児を定期的に本市の公立園で週一回でも預かる仕組みづくりはできないか。

【子ども未来部長答弁】 認定こども園や保育所等に入所してなくても、保護者の病気やリフレッシュ等のため一時的に子どもを預かる一時預かり事業を市内10の民間園で実施している。一方で、待機児童・保留児童の解消に至っておらず、保育士等の確保に努めているなか、現在のところ事業の拡充や創設が難しい状況。

【長畑要望】 私が求めるのは、保護者側からのアプローチを待っている一時預かり事業ではなく、定期的な預かり。

子ども達がどのような環境に生まれても、生命・健康・衣食住が守られることは当然のこと、学ぶ機会も含め、それらの質が保障されなければならない。毎年、小さな子ども達が不幸な目に遭うニュースを見る度に、子ども達を守らなければならない、そう思う思いで今回質問をした。

空き定員の無い中、多くの問題を解決しなければならないのは理解するが、公立園において週に一日だけでも定期的に預かる事業を検討してもらうよう要望する。



・災害時の避難経路について

【長畑質問】歩行空間において、バリアフリー化はどの程度進んでいるのか。

【都市整備部長答弁】四條畷市バリアフリー基本構想に基づき重点整備地区を定め、その地区内における生活関連経路からバリアフリー化を推進している。

この生活関連経路におけるバリアフリー化の進捗としては、全体として約5.7kmを位置付けており、そのうち約0.8kmのバリアフリー化が完了し、約14%の進捗となっている。

【長畑質問】避難所周辺が少しでも早くバリアフリー化を進めて欲しいとの思いで質問をしている。

つまり、重点整備地区に避難所が含まれていれば、そこからバリアフリー化を進めていくので問題ないと思う。そこで、各避難所は重点整備地区に含まれているのか。

【都市整備部長答弁】南小及び市民総合センターが該当する。

【長畑質問】歩道において車両導入部の接続部を切り下げることによる勾配が車椅子や高齢者、特に杖を利用されている方には危険だが。

【都市整備部長答弁】改善するには、用地の確保や道路前後の勾配など、その周辺状況に左右される。

【長畑要望】歩道面と車道面の高さを合わす形になるよう工夫して欲しい。無理な理由は歩道面の切下げだと思うが、逆に車道面をかさ上げすると考えれば方法はあらず。



歩行者に優しい市役所の歩道
(歩道と車道の高さが、ほぼ同じ)

本市内にある全ての歩道に対し、少しでも車椅子を利用される方や高齢者、また障がいを持たれている方にとって安心できる歩道へ改善することを要望する。

— ★ — ★ — ★ —

【長畑質問】災害時、混乱した中を避難所へ行かなければと必死になっている方が、全員たどり着けると考えているのか。

【都市整備部長答弁】市広報版の下の部分に最寄りの避難所を示した案内を掲載に加えて、防災マップを全戸配布することにより避難所の位置はもとより各家庭の対応すべき災害の危険性や避難経路の危険性について周知を図っている。

また、各自治会の作成する地区防災マップについては、避難所位置や主要な避難経路も記載することとしており、一定の避難所や避難経路等の周知は図れているものと推察する。

議員の避難所にたどり着けるかについては、風雨災害においては安全な時期に避難をするか、地震災害においては避難路の被害状況に応じて避難できるよう複数の避難経路を考えていただく等平時の備えが重要と考え、出前講座等によりその周知啓発に努めているところ。

また、災害発生時においては、防災行政無線による放送や自治会長等への情報提供、市ホームページやエリアメールなどあらゆる伝達手段を活用し、住民の皆様が日頃の備えに基づき災害状況に併せた安全な避難行動ができるよう努める。

【長畑質問】日中に突然大地震が起こった時、本市に在住している以外の方、また市民の方でも買い物等で市内であったとしても住居のある地域を離れている場合もある。避難時にはそれらも視野に入れる必要があるのでは。

そう考えると、毎日の行動の中で避難経路を覚えていけるような対策や、地域住民以外の方でもわかるような対策として、グリーンベルトの上に避難経路を記すことはできないか。

【都市整備部長答弁】多くの方々に認知されてきたとき、その採用を検討していきたい。

【長畑要望】これからグリーンベルトを施行する場合、そのグリーンベルトの上に避難経路を記す等、歩行空間において多様な手段による避難経路の情報を地域住民に限らず誰もがわかるようにすることを要望する。

— ★ — ★ — ★ —

【長畑質問】避難施設周囲には、ソーラー式の照明装置は設置されているのか。

【都市整備部長答弁】指定避難所のうち、本市で管理している施設については、電気の配線状況などにより一部ソーラー式照明装置を設置している箇所はあるものの、災害時や停電時を想定して設置している施設はない。

【長畑要望】日没となってから避難所へ向かう時、避難所の周囲、また避難所から数百メートル離れた場所に灯りが点いていれば避難所へ辿り着くことができる。また、大きな怪我などで気力が無くなってしまった方でも、もうひと踏ん張りして避難所へ向かうこともできると思う。避難施設周辺や数百メートル離れた場所にまで、ソーラー式照明灯などの設備は積極的に取り入れることを要望する。

あいさつ行為の制限



漫画は、長畑ひろのり News vol.137 より再掲載